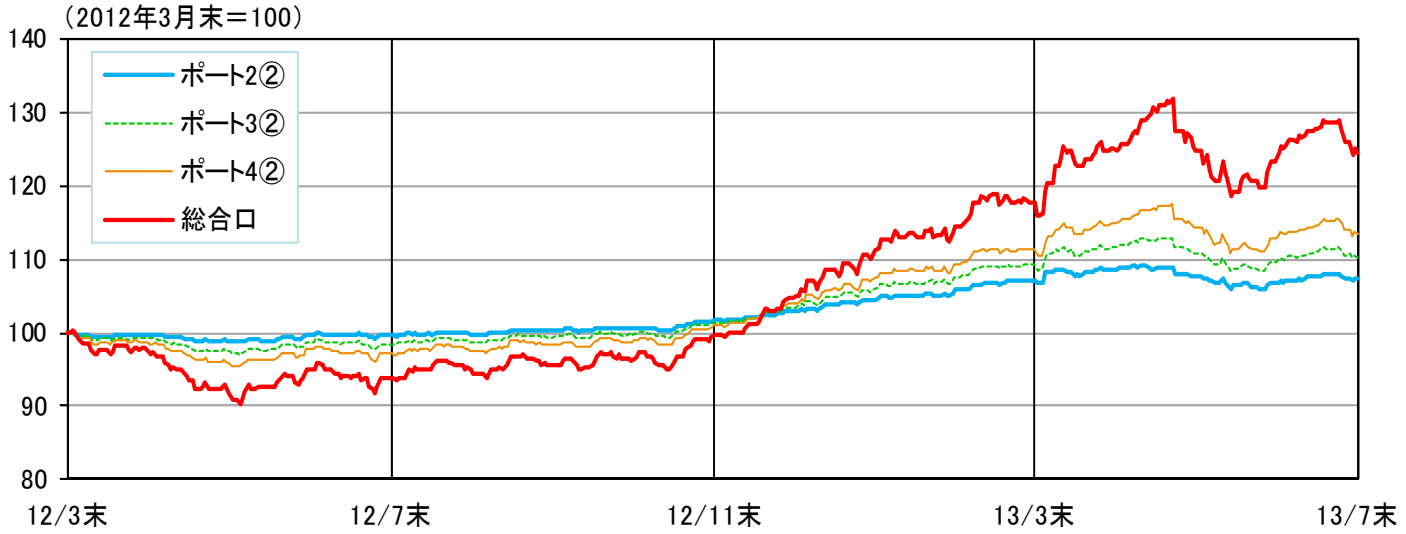
第一生命 年金通信

特勘☆パッケージポートフォリオ速報 7月末基準

安心の絆 生涯設計でつくる・届ける・広める

2013年8月7日号
特別勘定運用部

◎パッケージポートフォリオと総合口の収益率比較



■運用実績

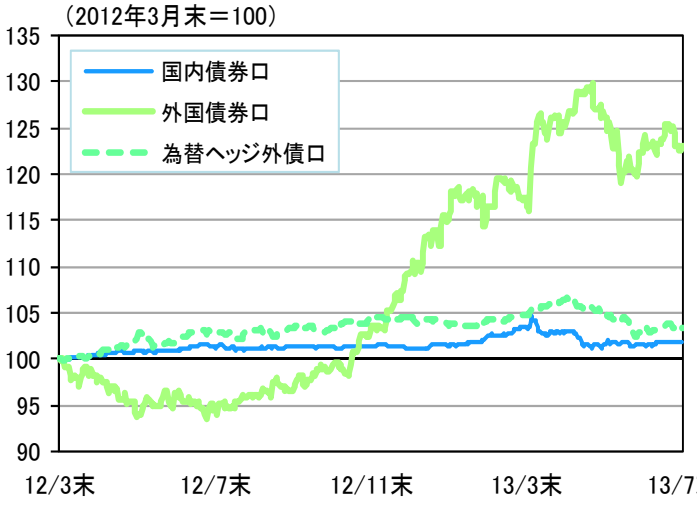
（単位：%）

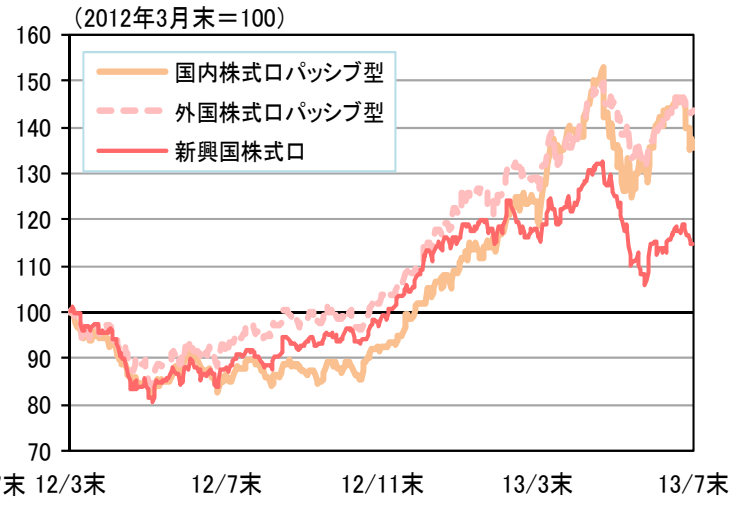
2013年度	ポート2②	ポート3②	ポート4②	総合口
累計	0.12	0.99	1.89	5.78

（単位：%）

	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期
ポート2②	1.39	▲ 0.90	▲ 0.76	▲ 0.29	0.41			0.41
ポート3②	2.24	▲ 0.70	▲ 1.03	0.48	0.51			0.51
ポート4②	3.23	▲ 0.57	▲ 1.28	1.33	0.56			0.56
総合口	6.32	▲ 0.27	▲ 1.28	4.67	1.05			1.05
	10月	11月	12月	第3四半期	1月	2月	3月	第4四半期
ポート2②								
ポート3②								
ポート4②								
総合口								

■ご参考





◎パッケージポートフォリオ実績

■基本構成割合

（単位：%）

	ポート1		ポート2		ポート3		ポート4		ポート5			
									国内株式口1型		国内株式口2型	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
国内債券口	88.0	73.0	77.0	64.0	66.0	56.0	55.0	47.0	44.0	38.0	44.0	38.0
国内株式口1型	－	－	－	－	－	－	－	－	21.0	20.0	－	－
国内株式口2型	－	－	7.0	6.0	12.0	10.0	17.0	15.0	－	－	21.0	20.0
国内株式口パッシブ型	2.0	2.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
外国債券口	7.0	4.0	8.0	7.0	10.0	9.0	13.0	12.0	15.0	14.0	15.0	14.0
為替ヘッジ外債口	－	18.0	－	16.0	－	14.0	－	12.0	－	10.0	－	10.0
外国株式口	－	－	－	－	－	－	－	－	18.0	12.0	18.0	12.0
外国株式口パッシブ型	1.0	1.0	6.0	4.0	10.0	7.0	13.0	9.0	－	－	－	－
新興国株式口	－	－	－	1.0	－	2.0	－	3.0	－	4.0	－	4.0
短期資金口	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
長期期待収益率	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5
リスク	3.1	2.9	3.6	3.3	4.6	4.2	5.9	5.5	7.3	6.9	7.3	6.9

■運用実績

7月単月	0.28	0.31	0.46	0.41	0.61	0.51	0.71	0.56	1.01	0.74	0.93	0.66
年度累計	−0.63	−0.79	0.51	0.12	1.62	0.99	2.66	1.89	4.25	3.29	3.77	2.84

■基本構成割合

（単位：%）

	ポート6				ポート7			
	国内株式口1型		国内株式口2型		国内株式口1型		国内株式口2型	
	①	②	①	②	①	②	①	②
国内債券口	34.0	30.0	34.0	30.0	23.0	22.0	23.0	22.0
国内株式口1型	26.0	25.0	－	－	31.0	31.0	－	－
国内株式口2型	－	－	26.0	25.0	－	－	31.0	31.0
国内株式口パッシブ型	－	－	－	－	－	－	－	－
外国債券口	17.0	16.0	17.0	16.0	19.0	17.0	19.0	17.0
為替ヘッジ外債口	－	8.0	－	8.0	－	6.0	－	6.0
外国株式口	21.0	14.0	21.0	14.0	25.0	16.0	25.0	16.0
外国株式口パッシブ型	－	－	－	－	－	－	－	－
新興国株式口	－	5.0	－	5.0	－	6.0	－	6.0
短期資金口	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
長期期待収益率	4.0	4.0	4.0	4.0	4.5	4.5	4.5	4.5
リスク	8.7	8.3	8.7	8.3	10.2	9.9	10.2	9.9

■運用実績

7月単月	1.12	0.80	1.03	0.71	1.29	0.86	1.17	0.74
年度累計	5.35	4.25	4.76	3.68	6.59	5.28	5.87	4.57

■ご参考　総合口

（単位：%）

	2013年度短期基本ポートフォリオ
国内債券	31.0
為替ヘッジ外債	2.0
国内債券計	33.0
国内株式	33.0
外国債券	11.0
外国株式	19.0
アジア新興国株式	2.0
外国株式計	21.0
短期資産等	2.0
合計	100.0

注1）原則として、四半期に一度リバランスを行うことで基本構成割合を維持します。資産配分効果は追求しません。（なお、各口が基本構成割合の±5%を超過した際には基本構成割合へ戻します。）

注2）各ポートフォリオのモデル収益率は、各投資対象別口のユニット価格伸び率をそれぞれの基本構成割合にて加重平均したものであり、お客さまごとの収益率とは必ずしも一致しません。

注3）期待収益率、リスク、およびポートフォリオのリスク算出に用いる相関係数は2013年4月における当社の市場環境見通し等に基づいて算出しており、今後変更となることがあります。

注4）最終ページのご連絡事項についてよくお読みください。

お問い合わせ先：特別勘定運用部
TEL　050-3780-1007

特別勘定特約に関する重要なお知らせ

※本お知らせは平成１９年９月３０日に金融商品取引法の施行を受けた保険業法の改正に伴い、広告等規制に基づき表示するものです。

手数料等について

特別勘定特約に関する手数料（保険事務費）は、当社が引受けるご契約者の年金資産（責任準備金）のうち特別勘定部分（各口）の経過責任準備金（時価平均残高）に比例し、経過責任準備金残高をランクごとの金額に分け、それぞれ商品ごとに適用される下表の手数料率を乗じて得た金額の合計額を毎年ご負担いただきます。
今後、新規に特別勘定特約を付加（新たな口の採用を含む）されるお客さまに対する手数料は以下の通りです。

■手数料率表

厚生年金基金保険特別勘定第1特約

経過責任準備金ランク（時価平均残高）	総合口	円貨建公社債口	円貨建株式口	円貨建株式口パッシブ型	外貨建公社債口	外貨建公社債口為替ヘッジ型	外貨建株式口	外貨建株式口パッシブ型	外貨建株式口新興国型	短期資金口
10億円以下の部分	0.440%	0.330%	0.520%	0.400%	0.550%	0.550%	0.600%	0.500%	0.600%	0.050%
～	～									
500億円超の部分	0.220%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

厚生年金基金保険（Ⅱ）特別勘定第1特約、確定給付企業年金保険特別勘定特約

経過責任準備金ランク（時価平均残高）	総合口	円貨建公社債口	円貨建株式口	円貨建株式口パッシブ型	外貨建公社債口	外貨建公社債口為替ヘッジ型	外貨建株式口	外貨建株式口パッシブ型	外貨建株式口新興国型	短期資金口
5,000万円以下の部分	0.600%	0.450%	0.700%	0.400%	0.750%	0.750%	0.800%	0.500%	0.800%	0.050%
～	～									
500億円超の部分	0.220%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

※上記のテーブルについては、経過責任準備金ランクの上限および下限のみ記載しております。
※手数料=各口の（経過責任準備金の各ランクに当たる金額×所定手数料率）の合計
※消費税は別途申し受けます。
※上記のほか、資産運用の過程で売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に関する消費税に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する諸費用、投資信託に係る信託報酬等を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、売買委託手数料等は売買委託先、売買金額等によって、また、信託報酬については投資信託の運用会社や投資対象資産等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。
※上記の手数料には、一般勘定（主契約）の手数料（保険事務費）、制度管理業務等にかかる各種手数料は含まれておりません。
※ 円貨建株式口については1型と2型を合算した金額で経過責任準備金ランクを判定します。

損失発生リスクとその発生理由

・特別勘定特約は、一般勘定（主契約）の責任準備金（保険料積立金）の一部を特別勘定で運用し、この運用実績を直接、責任準備金（保険料積立金）に反映させる仕組みの商品です。
・特別勘定は、国内外の公社債、株式等を運用対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価値の下落」等といった投資対象資産の価格下落リスクは責任準備金（保険料積立金）の下落要因となります。資産運用の結果は、その損失も含めてご契約者に帰属します。
・そのため、経済情勢や運用成果の如何により高い収益を期待できる反面、元本（特別勘定に投入された保険料の合計額）の保証はなく、運用実績が元本を下回ることがあり、損失を生じる可能性があります。

ご留意事項

・特別勘定における資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。
・特別勘定での運用にあたっては、ご契約者が特別勘定の特徴を十分理解した上で、ご契約者の判断と責任において行わなければなりません。

第一生命保険株式会社　住所:東京都千代田区有楽町1－13－1
電話: 03(3216)1211(大代表)